

令和3年度第2回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

令和3年11月26日（金）13:30～14:30

ビーチホールまがたま 研修室4,5

【出席委員】

井川賢一委員、吉田学委員、白石雅孝委員代理、塚田二郎委員、渡辺郁子委員、丸山延弥委員、小谷野委員代理、室橋活二委員、鹿野剛史委員、北嶋宏海委員、岩崎義一委員、内山委員代理、神林修委員、川又進委員、吉田和則委員、高山キミ委員、古見隆夫委員、原委員代理、島谷尚之委員、井上正樹委員、佐々木繁雄委員、池田正吾委員、渡辺一彦委員 以上 23 名

【会議の概要】

1 開会

- ・都市政策課課長補佐の進行で13:30開会

2 会長挨拶

- ・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

<会議成立報告>

- ・委員出席状況は、総数28名中23名が出席となり、協議会規約第9条第2項に規定する過半数を超えていることから、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

3 報告

- ・議事進行は都市政策課課長補佐

(1) 糸魚川市地域公共交通協議会委員の交代について
質問・意見なし。

4 議事

- ・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

議案第1号 糸魚川市地域公共交通網形成計画 延長等の修正素案

委員：パブリックコメントを反映させた修正案を提出いただく予定であり、計画延長の方針については昨年度すでに協議会での合意も得ていることなので手続きは問題ない。

修正前と比べて人口がかなり減少した数値に修正されている。次期計画策定の際は人口減少の現状なども考慮し策定いただきたい。

事務局：今年度策定される第3次総合計画の数値を記載している。人口減少も進んでいるので次期

計画策定の際はその点も考慮し作成する予定。

委員： 時代もどんどん変わっている。交通が人口流出を食い止める大きなカギだと考えている。今後は新しい角度で次期計画策定に向けて進む期間としてほしい。新しいモビリティなど本市にとって明るい刺激となるものとなってほしい。

事務局： 今回はじめて公共交通政策の計画を策定し実践してきたが、交通は庁内の色々な部署との連携が必要なことを改めて実感した。新しいモビリティについては研究しており、次期計画には盛り込めるよう進める。

委員： 新駅の乗降客の状況を教えていただきたい。また、糸魚川管内での高齢者の自動車事故の状況を教えていただきたい。

事務局： 平日が多い時で乗降約 250 人。休日が乗降約 200 人。当初想定より少ない。利用を増やすように取り組んでいく。

委員： 人身事故が 40 件、うち高齢者の事故が約半分。高齢者の踏み間違いによるものは発生していない。事故防止の点から免許返納は有効ではあるが、山間部の方々が車を手放せない状態であることも理解している。現在、サポカー（踏み間違い防止機能）が有効であるので紹介等もしていく。

委員： 免許返納したいが移動手段が確保できないため返納できない。他の交通手段の構築も考えてほしい。

事務局： 公共交通だけで全てのニーズをこたえることは難しい。集約したニーズで路線バスが運行している。運行している路線バスで各個人の利用に合わせた自分専用の時刻表を作成するサービスが提供されていることも周知していく。

（決 議）原案のとおり承認

5 その他

・議事進行は都市政策課課長補佐

○次年度路線バスダイヤ改正にむけて

委員： 次年度路線バスダイヤ改正にあたり、学校の意向についても反映いただきたいが、どういった対応をすればよいか教えてほしい。

事務局： 教育委員会とも情報共有しながら対応を進めたい。その際は、具体的な内容を教えてもらいたい。

○県内高速バス（新潟-糸魚川線）の改正

委員： 県内高速バスが 12/1 から変更。新潟-糸魚川線については、新潟駅 14:40 発を 14:30 発へ。IC カード割引を 15%から 5%に変更。

○次回以降の協議会開催

事務局： 今後の協議会は、来年 1 月と 3 月開催を予定。詳細決定すれば案内送付する。

6 閉会

(14:30 終了)

■協議会の様子

